

# 全国知事会議 セッションA

## 「行政の効率化・高度化のためのAI活用」の概要

### 1. テーマ（案）

行政の効率化・高度化のためのAI活用

### 2. テーマ設定

#### (1) 主旨

- ・AI技術が急速に進展する中、「AI エージェント」「フィジカルAI」などの登場もあり、様々な分野で効率性や利便性を飛躍的に向上させており、AIは、もはや現代社会の持続可能な発展には欠かせないテクノロジーとなってきた。
- ・地方自治体においては、人口減少、社会インフラの維持・更新費用の増高等、資源制約が深刻化する中でも、行政サービスを安定的に提供していかなければならず、課題克服のためには、AIの積極的な活用が重要である。
- ・一方で、自治体の規模等による導入・活用の格差があるため、取組は十分とはいえない状況にある。
- ・本セッションでは、こうした動向を踏まえ、有識者を交えた議論を深め、誰もが安全に、一定水準でAIを活用できる行政の実現に向け、課題と対応の方向性を整理・共有する。

#### (2) 議論の方向性

- ・AIの最新動向に関する有識者の知見や各自自治体の取組等を共有し、行政の効率化・高度化に向けたAIの導入・活用の推進につなげる。
- ・最新技術の導入や活用領域の拡大に向けた議論を通じて、国に対応を求めべき課題等を明らかにし、要望活動等により実現を図る。

### 3. 参加メンバー（予定）

- (1) 有識者 1名（Gen-A X株式会社代表取締役CEO砂金信一郎氏）
- (2) 全国知事会 山口県知事（座長）、参加希望知事13名

### 4. 進行概要（案）

（計120分程度）

時間	内容	
5分	開会・趣旨説明	座長（村岡知事）によるテーマの趣旨説明、有識者紹介
15分	話題提供	有識者講演（詳細調整中） ・AI技術の最新動向について ・行政分野におけるAI活用の先進事例
95分	意見交換	・各知事から発言および自由討議、有識者コメント等
5分	総括・閉会	座長（村岡知事）による総括

## 全国知事会議 セッションB

### 「ジェンダー平等に向けて～女性にも魅力ある地域社会をつくろう～」の概要

#### 1. テーマ

ジェンダー平等に向けて～女性にも魅力ある地域社会をつくろう～

#### 2. テーマ設定

##### (1) 主旨

- ・人口減少が急速に進み、地方では、若年女性の流出が目立っている。内閣府の調査※によると、若者が出身地域を離れた理由として、「やりたい仕事や就職先が少なかった」のほか、特に女性では「地元を離れたかった」、「親や周囲の人の干渉から逃れたかった」の割合が高くなっている。
- ・若年女性の流出を防ぎ、地域の活力を維持・向上させるには、女性が生きやすい社会、働きやすい職場をつくっていくことが不可欠である。
- ・そのためには、地方ができることはこれまで以上に全力で取り組んだ上で、政府に対しては、経済界への働きかけの強化や、環境整備につながる各種インセンティブの充実など、担うべき役割を的確に伝えていく必要がある。
- ・本セッションでは、ジェンダー平等に向けて、女性が主体的にライフデザインを描き、実現できる地域社会の構築について、有識者を交えて意見交換を行いたい。

※内閣府「令和6年度地域における女性活躍・男女共同参画に関する調査」（対象：18～39歳の男女）

##### (2) 議論の方向性

- ・女性参画の現状・課題や先進事例等に関する有識者の知見、各都道府県の取組みを共有し、効果的な施策展開について議論することで、地方の取組みの強化や政府への要請につなげる。

#### 3. 参加メンバー

- (1) 有識者 大槻 奈巳 氏 独立行政法人男女共同参画機構理事長  
(2名) 聖心女子大学名誉教授  
アキレス 美知子 氏 三井住友信託銀行取締役・監査等委員  
内閣府男女共同参画推進連携会議議長  
横浜市市民局女性と経済アドバイザー

- (2) 全国知事会 山形県知事（座長）  
参加希望知事 10名程度を想定

#### 4. 進行概要

（計 120 分）

時間	内容	
5分	開会・趣旨説明	座長
50分	話題提供	有識者
60分	意見交換	・各知事から発言および自由討議 ・有識者コメント
5分	総括・閉会	座長

**全国知事会議 セッションC**  
**「子ども子育てに関する国と地方の役割と、  
財源を含む支援のあり方」の概要**

**1. テーマ**

子ども子育てに関する国と地方の役割と、財源を含む支援のあり方

**2. テーマ設定**

**(1) 主旨**

これまで知事会では、子ども子育てに関して全国で広く実施されている取組については、ナショナルスタンダードとして、国の責任と財源で実施すべきと主張してきた。

令和7年12月19日の「いわゆる教育の無償化に関する国と地方の協議の場」において、国から「子ども子育てに関する国の役割や、ナショナルスタンダードの観点も踏まえて、全国的な支援の在り方を財源も含め、地方団体と協議しながら検討する」との方針が示されており、知事会としても改めて子ども子育てに関する支援のあり方などを検討する必要がある。

そこで、国と地方が役割分担する中で、「ナショナルスタンダード」の対象や水準、地方としての役割をどう考えるか等について、参加者間の議論を深める。

**(2) 議論の方向性**

- ・子ども医療費助成をはじめ、保育料の軽減や、いわゆる教育の無償化などについて、地域における取組状況や直近の国の動向を整理したうえで、ナショナルスタンダードとして実施すべき対象や水準などについて議論する。
- ・併せて、ナショナルスタンダードとは別に、地方が地域の実情に応じて実施する施策など、地方として果たすべき役割についても議論し、各県における取組の共有等も図る。

**3. 参加メンバー**

全国知事会 千葉県知事（座長）

参加希望知事 10名程度を想定 ※有識者なし

#### 4. 進行概要

(計 120 分)

時間	内容	
5分	開会・趣旨説明	座長
10分	状況説明	座長県 (子育てを取り巻く情勢、地域における取組状況 等)
35分	テーマに沿った意見表明	参加知事から発言
65分	意見交換	自由討議
5分	総括・閉会	座長

# 全国知事会議 セッションD 「人口減少下における賢い縮小戦略」の概要

## 1 テーマ

人口減少下における賢い縮小戦略

## 2 テーマ設定

### (1) 趣旨

当面避けることができない人口減少に「適応」しながら、地域の持続可能性を高めるには、「スマートシュリンク（賢い縮小）」の視点が重要なポイントとなる。

従来型の不採算部門の切り捨てなどの単なる「シュリンク」が、「縮小の連鎖」を招きがちであるのに対し、「スマートシュリンク」は、行政サービス全体の「再構築」を通じて、持続可能な提供体制の実現を目指すもの。

本セッションでは、こうしたスマートシュリンクの視点での取り組みを含め、「縮小＝後退」という固定観念を越えて、地域の資源や機能を見直し最適化を目指す「賢い縮小戦略」について議論を深めたい。

### (2) 議論の方向性

参加知事や有識者の方々から、人口減少下における「賢い縮小戦略」の実践例や課題、最新の知見について議論する。

そして、持続可能な行政サービス提供体制の実現に向けた好事例の横展開や今後の提言活動につなげる。

## 3 参加メンバー

- (1) 有識者 増田 寛也 未来を選択する会議 共同代表、  
野村総合研究所 顧問  
田中 秀明 明治大学公共政策大学院 教授
- (2) 全国知事会 高知県知事（座長）  
参加希望知事

## 4 進行概要

（計 120 分）

時間	内容	
5分	開会・趣旨説明	座長
40分	話題提供（事例紹介）	有識者（1人20分程度想定）
70分	意見交換	・各知事から発言及び自由討議 ・有識者コメント
5分	総括・閉会	座長

# 全国知事会議 セッションE 「強い経済実現のための地域人材戦略」の概要

## 1. テーマ

強い経済実現のための地域人材戦略

## 2. テーマ設定

### (1) 主旨

- ・国では、「強い経済」の実現に力点を置いた「地域未来戦略」をとりまとめることとしており、地方では、「地域産業成長プラン」の策定が求められている。
- ・全国で構造的な労働供給制約が顕在化する中において、地域における産業需要や人口動態を踏まえた戦略的な人材育成を進めることが必要。
- ・本セッションでは、地域未来戦略による「強い経済」を実現するための地域における人材確保・育成に必要な取組みについて、有識者を交えて議論を深める。

### (2) 議論の方向性

- ・有識者の意見や各都道府県が策定した「地域産業成長プラン」の取組みを共有し、プランの実現にあたり直面する課題を掘り下げ、課題解決に向けた人材確保・育成の取組みの方向性について意見交換を行う。
- ・議論において、国に対応を求めべき課題等が明らかになった場合には、国への働きかけにより実現を図る。

## 3. 参加メンバー

- (1) 有識者 リクルートワークス研究所 主任研究員 古屋 星斗 氏
- (2) 全国知事会 新田八朗富山県知事  
(座長 地方創生・地域未来戦略推進本部副本部長)  
参加希望知事

## 4. 進行概要

(計 120 分間)

時間	内容	
30分	導入	・座長（富山県）からの趣旨説明（10分） ・有識者プレゼン（20分）
5分	論点提示	3つの戦略の柱（教育改革、産業連動、リスクリ ング・人材還流）を提示。柱ごとに「先行事 例」、「課題」、「国への要望」を明確にする。
70分	意見交換	各都道府県からプランの取組みをご紹介いただ くとともに、論点に沿って、参加知事から発言

10分	有識者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各論点に共通する構造的な課題の整理</li> <li>・政策としての方向性の示唆</li> </ul>
5分	総括・閉会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柱ごとの論点整理</li> <li>・国への提言の方向性のとりまとめ</li> </ul>

## 5. その他（3つの論点についての補足）

### ①教育改革

- ・ 高校教育改革や、それと連動した大学、高専など高等教育改革と、地域産業の将来像をどう接続していくか。
- ・ 理工系人材や、地域産業を支える実践的人材を入口段階からどう育てるか。

### ②産業連動

- ・ 地域産業成長プランに掲げる重点分野と、人材育成・確保の取組みをどう一体化するか。
- ・ 産業の成長戦略の中に人材戦略を組み込む必要がある。

### ③リスキリング・人材還流

- ・ 東京圏で今後見込まれる事務職を中心とした余剰人材と、地方で不足する現場職等とをどう繋ぐか。
- ・ リスキリングを、都市部人材が地方の成長産業や地域の現場で活躍するための人の流れをつくる政策として位置付ける必要がある。